

会議結果報告書

1. 会 議 名 令和7年度 第4回 印西市環境推進会議（市民会議）
2. 日 時 令和7年10月15日（水）9:30～12:00
3. 場 所 我孫子市岡発戸・都部谷津ミュージアム
4. 出席委員 小山会長、久保菌委員、福井委員、片桐委員、渡辺委員
事 務 局 環境保全課 浅井主査補、及川主任主事、本庄主事
我孫子市手賀沼課 嶋田課長、今野主事、遠藤主事
我孫子市岡発戸・都部谷津ミュージアムの会 山田代表、平原氏、田島氏

5. 傍 聴 者 非公開

6. 内 容

（1）我孫子市谷津ミュージアム 現地視察

9:30～11:30 挨拶、現場視察

11:30～12:00 質疑応答

12:30 解散

【概要】

我孫子市手賀沼課の職員による谷津ミュージアムの概要説明、谷津ミュージアムの会有志数名の自己紹介の後、谷津ミュージアムを全員で歩きながら各エリアでの環境保全に係る取組内容の説明を受けた。

見学後は市民会議委員から我孫子市及び谷津ミュージアムの会会員への質疑応答を実施し、視察を終了した。

【質疑概要】

1. 谷津ミュージアムの運営に関して、市とボランティア団体がどのように関わって年間の活動計画やイベント実施内容の決定を行っているのか、事業の流れを伺いたい。

我孫子市：総会を年に1回5月に開催し、その年度の活動計画や予算を決定する。その後、年間を通じて2、3ヶ月に1回のペースで運営委員会を開催し、総会で決定した活動計画に基づき、イベントの具体的な実施内容や、現在抱えている問題について話し合う場を設けている。

谷津ミュージアムで実施するイベントは市が主催するもの、谷津ミュージアムの会が主催するもの、共同主催するもの等がある。

2. 昨年度の活動計画と実績、予算に対する執行率を伺いたい。また、過去の活動に関しての議事録や活動の記録で公開されているものがあれば拝見致したい。

我孫子市：昨年度の活動実績に伴う予算執行率は50%程度。活動記録として、年に2回「谷津ミュージアム通信」を発行している。インターネットでは公開していないが、谷津ミュージアムの会の会員や、近隣センターなどで配布している。

3. 我孫子市から関わる団体への補助金の有無ともしあれば補助額を伺いたい。

我孫子市：市は谷津ミュージアムの会と協定を結び、年間 40 万円の負担金を支出して運営を支援している。負担金は、主に現地の維持管理作業に必要な費用やイベント経費などに充てられている。

4. 水路が細く感じるが、大雨が降った場合に備えての対策は実施していますか。

我孫子市：多自然型水路は、市の建設部（治水課）が管理している。

5. 谷津に存在する民地との関係において、民地所有者の方とどのように関わられていますか。借地料等の支払い等があれば伺いたい。

我孫子市：市が土地所有者に借地料を支払い、維持管理作業を行っている場所が 2 カ所ある。
ホタル・アカガエルの里や、作業小屋の周辺が該当する。
そのほか民有水田については、土地の所有者自身が耕作を行っているが、谷津田の保全・再生事業として耕作面積に応じて補助金を交付している。

6. 隣接するゴルフ場との関係において、農薬の使用量調整などのお願いなどを行っていますか。

我孫子市：市としてゴルフ場に規制をかけたり、指導したりはしていない。

7. 直面する問題点や、将来に対する問題点はありますか。

我孫子市：谷津ミュージアムの会としては、近年の夏場の気温上昇、特定外来生物（植物・動物）の駆除や対策が課題。将来的には、会員の高齢化に伴う新たな担い手の確保が困難である。
市としては、土地所有者の高齢化が進み、相続などで耕作が困難になるケースが今後増えてくるであろうという点を課題と感じている。

8. 谷津ミュージアムの会のほか、関わりのある団体や協議会などがありますか。

我孫子市：谷津を愛する会とあびこ谷津学校友の会との関わりがある。

9. 農振地域などの指定はあるか。開発の規制はありますか。

我孫子市：農振地域には指定されておらず、谷津ミュージアムに対して特別にかけている規制はない。過去に開発計画があった際には、周辺の住宅地にお住まいの方々から反対の声が多く上がり、計画が中止になった経緯がある。

10. 所属人数とボランティア参加報酬の有無を教えてください。また、団体の担い手確保の方法について教えてください。

我孫子市：会員数は令和7年度で57名。参加報酬はなし。新たな担い手は、主にイベント開催時に参加を呼びかけたり、会員同士の口コミや直接の勧誘で確保したりしている。市のHPにて谷津についての紹介ページはあるが、積極的な会員募集の文言は掲載していない。

11. ボランティア実施中の事故や、怪我などに対しての補償はありますか。

我孫子市：市の「市民公益活動補償制度」が適用される。これは市内の様々な市民団体の活動中の事故に対応する補償制度である。

12. 谷津でのイベント開催の際の人集めの方法や、参加費の有無を教えてください。

我孫子市：主に市の広報誌やSNS、チラシの配布などで告知している。参加費はイベントによって異なり、例えば市民参加の田んぼ(市主催)では、大人1,000円、子ども500円をいただいている(令和7年度)。一方、ホタル観察会では保険料相当として50円をいただいている。

13. 重機、ユンボ、トラクター、普通トラック、農業機械、耕運機、田植え機、ハーベスタ、籾摺り機、唐箕、等作業に必要な機械類はどの様に調達されていますか。

我孫子市：耕運機やバインダーなど一部は市で購入・管理しているものもあるが、ユンボ、トラクター、コンバイン等大型のものは市で保有しておらず、農家の方に有償にて借りて使用している。

14. 谷津内に不特定多数の人が立ち入ることに関して、トラブル(盗掘、無断採集等)防止策はとられていますか。

我孫子市：エリア内に「谷津でのルール」を記載した看板を複数設置しているほか、市のホームページでも注意喚起を行っている。山野草の盗掘やホタルの無断採取などのトラブルは発生しており、発見した際には注意を促しているが、民有地であるため指導には限界があり、最終的には個々の良識に訴えるしかないのが現状である。

15. 谷津ミュージアムの事業が始まった経緯を教えてください。

我孫子市：約 20 年前、市内で都市化が進む中、昔ながらの自然が豊かに残るこの場所を保全しようという目的で事業構想が作られ、趣旨に賛同してくださる方々を集める形で、市が事務局となり「谷津ミュージアムの会」が設立された。

以上

令和 7 年度第 4 回印西市環境推進会議（市民会議）の会議録は事実と相違ないことを承認します。

令和 7 年〇〇月●日

印西市環境推進市民会議 委員 渡辺 統之

印西市環境推進市民会議 委員 福井 章夫